

旅館業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	客室内壁のヤニ取り作業をしていた際、脚立（3段、高さおよそ70cm）を使用して壁の拭き上げ作業後、脚立から降りる際に体勢を崩して落下転倒してしまい負傷した。	50～49	30
1	15～16	別館（男風呂・平屋部分）の屋根の雪下ろしをしている最中軒先の雪を下ろそうとしたところ、軒先が折れてしまったため転落し、足から着地したが腰椎を圧迫骨折した。	58	1～9
1	9～10	冷蔵庫から野菜用ポリバケツを持って、一段の階段を下りるとき、滑って左の脇腹を強く打ち、脇腹上から3番目を骨折し、左の脇腹から胸にかけて5本骨折した。	64	10～29
1	13～14	ホテルの非常階段を利用して、地下1階のトイレへ下りようとしたところ、階段の最上段を踏み外し、前方へ倒れ込むような状態で右手側より落下し、負傷した。	55	1～9
1	8～9	当社敷地内に於いて、屋外設置の釜でボイラー作業（釜の中に燃料を投入し、釜内で片寄って投入された燃料棒をならす作業）を行っていた。フォークリフトを使用し釜の中に燃料（棒状の重さ50g位、太さ3cm、長さ5～10cm）を投入し、釜（直径3m、高さ4mの円柱状）の内部に梯子で降り、ならし作業が終了した為、梯子で釜から出ようとした際、昇っている途中で立て掛けてあった梯子が横へバランスを崩してしまい倒れかけ、約2mの高さから落下し、釜内の燃料に左足踵を強打して負傷した。	44	50～99
1	10～11	本館2階の部屋の確認後南の階段で1階に下りようとしている時、下から2～3段目で滑り落ちて、手をついたとき骨折した。	62	30～

				49
1	15~ 16	敷地内のグランド西側の急傾斜の法面を鎌で草刈をしていた。従業員が来客を告げるため、左後方から声をかけた際、振り向き様にバランスを崩し、転倒し2m50cmの擁壁から転落し、側溝で頭部と胸部を打ち負傷した。	63	10 ~ 29
1	10~ 11	宴席前のスタンバイ時、中央非常階段を使用し移動（2FからM2F）していたとき、書類を見ながら階段を下りていたため足を踏み外し、5段程度転落した。	18	100 ~ 299
2	14~15	当館ホテル内において、清掃確認作業中（客室）に外階段で各階に移動中、氷で足を滑らせ階段下に落下した。その際に右肘を強打し右肘橈骨頭を骨折した。	37	—
2	9~10	1階~2階階段の踊り場において清掃していたところ、バランスを崩し1階に転落した。その際、右足首を骨折してしまった。	50	10 ~ 29
2	15~16	他セクションに食材を取りに行く途中で階段を下りている時、階段の縁にヒールが引っ掛かった為、右足関節外側を捻挫した。	21	500 ~ 999
2	10~11	ホテル駐車場にてお客様の車を移動する際、隣の土地との段差にて足を踏み外した。	48	10 ~ 29
3	12~13	従業員食堂で昼食を終え、農場近くにある造園事務所に戻るため3階から階段を下りている際、足を踏み外して3Fと2Fの間の踊り場に倒れた。	39	300 ~ 499
4	12~ 13	脚立を使用し窓及び入口を清掃作業中、雪解け後で足元が少し不安定であったが、脚立を使用してガラスを清掃した際に誤って脚立の3段目（高さ約80cm）から転落し、頭部と頸部を負傷した。	56	10 ~ 29
4	20~ 21	調理後のゴミを出す為にゴミ置場へ行き、その帰りに地下室へ通じる階段を下りようとして足を踏み外して転落し、肩と両手を強打した。	53	10 ~ 29

4	10～ 11	5F客室の電気のカサの上の掃除するため、机の上にイスを置き高さ80cmから作業が終わり、下りようとした時に足元がぐらつき落ちた。腰と右手を強く打ち、声が出ない程の痛みがあった。	73	～ 99
4	17～ 18	事業所内にある生け簀にアワビ、サザエをとりに行き、溝口に落ち打ち骨折した。	62	～ 29
4	11～ 12	客室にて、エアコンの吹き出し口を脚立の上に上がり清掃している際に、バランスを崩し転倒した。	73	～ 49
5	11～ 12	朝、出勤しようと事業所内の2階の階段を下りていたところ、最後の一段を踏み外し足を捻ってしまい、右ハムストリング肉離れとなった。	68	～ 49
5	18～ 19	2階にある宴会場で使用した長椅子を2人で両端を持ちながら本館2階階段から1階まで運ぶ作業をしていた。被災労働者が後ろ向きになり先に階段を降り、目で足元を見ながら降りていたが、あると思っていた段差が見えず、階段を3段程降りたところで踏み外して体を回しながら1階下段まで転げ落ち、1階にある防火扉に当たって静止した。	18	～ 49
5	12～ 13	当ホテル7階客室の清掃作業中、壁のほこりを落とそうと高さ80cmのテーブルの上に乗って作業していたとき、目眩がして床に落ちてしまい右腕と頭を打った。	68	～ 99
6	11～ 12	ホテルのレストラン用椅子を更新のため、ロビーからB1Fのレストランに運搬作業中、階段で足を踏み外して2段下の階段踊り場に転落し、左足首を骨折した。	27	～ 49
6	13～ 14	館内の空調清掃中に、椅子から落ちて打撲した。	65	～ 49
		ルーター故障の為、脚立（高さ約150cm）の一番上に立ち、外壁に付いているルー		50

6	11~ 12	ター（高さ約3m）の部品付け替え作業の際、脚立が左側に転倒し、背中から落ちて負傷した。尚、脚立を置いた場所は斜面で草も生い茂っていたが、不安定でないか確認をした。	56 ~ 99
6	21~ 22	1階厨房より2階へ行く階段を上がっていた際、2/3位上がった所で右足を滑らせた。咄嗟に手すりを掴み落下を避けようとしたが、バランスを崩しコンクリート床に落下し、強打した。	30 46 ~ 49
6	19~ 20	3階従業員食堂のテーブルで客先のマニュアル作成中、2階で従業員エレベーターの開閉スイッチがストップのまま、エレベーターが動かないので解除して欲しい旨の電話があり、3階から階段で下りようとした時に足を踏み外して落下し、あちこちを骨折してしまった。	66 ~ 100 299
6	15~ 16	業務中、ホテルのバックヤード6F事務所から階段で下に移動中、躓いて階段を転げ落ち、壁に激突し、救急車で病院に搬送された。左手肘を脱臼骨折し、手術をした。	300 43 ~ 499
7	11~12	壁際にて、脚立に乗り2m程の高さのところに無線LAN機器の取り付け作業中、脚立がぐらつき落下し、腕・足を強打する。	47 ~ 100 299
7	9~10	調理場にてご飯の釜を運ぶ時、段差がある所で足をおろした時に、膝にギクッと痛みが走る。3升分の大きな釜なので、かなりの重さがあるために、力がかかったようである。	64 1~ 9
7	21~22	食堂内で給茶機の清掃作業をイスに乗ってしていたところ、バランスを崩して転落し、左ひじから手首にかかる部位を床に強打した。	70 ~ 10 29
7	16~17	ホテルの2階の窓のヒサシ（幅50cm程）に出て、飾っていたイルミネーションの配線を外そうとしたところ、体勢を崩し、足から落下した。足が腫れ、動ける状態ではなかった。	69 —
7	11~12	午前の作業が終わり帰る際、階段を下りたところの段差につまずき、鋼鉄の柱にひじと腰を打撲した。その後寮へ帰り休憩し、午後出勤しようとしたが起きあがれ	30 72 ~

		なかった。		49
7	15~16	当館裏口に面している歩道に於いて事業の提灯飾り付けの作業を行っていた。脚立に昇り約5mの高さの箇所へ吊す作業をしていたところ、足を滑らせて落下。足から地面へ滑り落ちたことによる右踵を捻挫する負傷となった。	23	~ 99
7	19~20	館内の階段を下りていた際、誤って足をふみはずし左足首を負傷した。	47	~ 299
7	13~14	2階から1階へ両手でごみを持って内階段を下りていたところ、海水浴から帰られたお客様が通った後で階段が濡れていたことに気がつかず、滑って転んだ際、右手をついてしまった。	75	—
7	17~18	ホテルの客室清掃中、部屋内の階段に躓き転倒し、階段で左足の甲を強打した。	50	~ 29
7	16~17	ホテル内にある従業員専用のカプセル式仮眠室の上段から休憩を終えて出ようとした際、下段にいると勘違いし、転落した。その時に右手首、首の後ろ、左太ももを強打した。	28	~ 299
7	16~ 17	階段を下りる際、足を踏み外し、その場から3段程転落した。	44	~ 29
7	0~1	旅館の外で、食器洗い場で出たビニール袋に入った残飯をゴミ置場に運ぼうとしたとき、パントリーの電気をつけずに外へ出たため、旅館の外に流れている川に架けてある橋を渡ろうとした際、足を滑らせ、川に落ちて骨折した。当時は、雨が強く降っていた。	60	~ 49
7	9~ 10	1F洗い場倉庫にて、椅子（高さ42cm）を踏み台代わりにし、棚上段に容器を片付けていたとき、バランスを崩し椅子から落下した。その際に左足の踵・足首を痛めた。	76	~ 99
		当社敷地内にて、ホテル東側非常階段近くの建物の外壁に取り付けている外灯（高		

7	8~9	さ3m40cm) についていたクモの巣の除去清掃作業中、脚立の天板（高さ1m70cm）に立ち、ほうき（長さ70cm）を使ってクモの巣を取り払おうとしたとき、バランスを崩して脚立が倒れ、背中から地面に落ち負傷した。当時、脚立は少し段差のある不安定な場所に設置されていた。	62	50 ~ 99
7	14~ 15	ホテル駐車場で、高さ約2.5mの所にある電球を交換するとき、高所のため脚立を使用中、脚立が不安定になり、足を滑らせて脚立より落下し、左足から着地した。	36	50 ~ 99
7	13~ 14	旅館内本館1階エレベーター横の階段で、消火訓練中、下に降りる際に誤って足を踏み外し、右足首くるぶしを捻った。	76	50 ~ 99
9	23~ 24	深夜館内点検中、2階カラオケの点検、戸締まり後に1階フロントに戻る途中の階段で足を踏み外し一番下まで落下、右肩及び右腕を強打、後日、骨折が判明した。	69	30 ~ 49
9	20~ 21	ゴミ焼却場にて夕食時のゴミを焼却炉に投入して、少しした後燃焼確認の為、焼却炉の扉を開け火の通りをよくする為掻き混ぜた時、突然火が吹き出し、避けるため後退し2.5m下に落下した。	51	10 ~ 29
9	20~ 21	就業場所スタッフ専用通用口から渡船場へ徒歩で移動中、適用口より出たところに駐車中の軽トラックを回り込んで坂道へ降りようとしたところ、暗い中、足元を踏み外し約60cm下の段差で右膝を強打し受傷した。	52	10 ~ 29
10	20~ 21	宴会場において、神前式の設営を行うため、壁の高いところに御簾を取り付ける作業を行う際、会議用の長テーブルの上に乗って作業を行っていたものの、会議用テーブルの脚が老朽化によって突然折りたたまれ、バランスを崩し落下。右足首を負傷した。	46	50 ~ 99
10	19~ 20	当社内において、3階の宴会場の食器を2階の洗い場に運んだ時に気分が悪くなり、洗い場の非常口から出て外階段の踊り場で休んでいたところ、誤って階段から転げ落ちて負傷したもの。	63	30 ~ 49
	17~	ホテル1階厨房の高い棚から物を取ろうとして段の上にあがり、下りた時に balan		300

10	18	スを失い、右足を痛めた。時間の経過と共に右足のふくらはぎが腫れて、歩行困難となった。	62	～ 499
10	16～ 17	ホテル内階段を5階から4階へ移動中、足を踏み外し落下した。左手首を骨折、左足膝、脛等を打撲した。	46	—
10	11～ 12	洗濯物を干すために、裏庭にある物干し場に洗濯かごを持って移動していたところ、裏庭に出る階段を下りる際に表面が濡れていたため、誤って左足を滑らせ、階段を滑り落ちた。しりもちをつく形で転倒し、負傷したもの。	71	1～ 9
10	16～ 17	敷地内を清掃中に台風の影響もあり、強風と降雨のため転倒し胸部及び左肩を地面に打ちつけた。	47	10 ～ 29
10	9～ 10	本館22階のロビーに於いて、カーテンレールの装飾を補修するため、約2mの脚立に上って作業した際、誤って脚立から転落し、右上腕骨骨折を負った。	45	500 ～ 999
10	5～6	施設内で非常階段へ通じる扉の開錠作業を行うため、非常階段を使用し、9階から8階へ下りていたところ、雨で非常階段が濡れていたこともあり、3段ほど足を滑らし転倒しそうになった。その際、両手を着いて転倒を防いだが、右手首を骨折し負傷した。	51	10 ～ 29
10	14～ 15	客室在室中にオートロックが作動し、閉じ込められた状態となった。開錠用の鍵は持っていたが、あまり使うことがないため気が付かず、2Fの窓より外に出て軒をつたい少し下がった地上より2メートルくらいの高さの倉庫の屋根に移ってから地面に飛び降りた。	54	1～ 9
10	14～ 15	客室清掃を担当する被災者は、災害当日清掃を終えた部屋の鍵をフロントへ返却するため非常階段を急いでかけ下りているところ、頭の中では1段1段下りているつもりが体は、先に先に行ってしまう最後の段を踏み外し、転ぶことはなかったが、右足に全体重がかかった状態で着地したため、足を痛めた。非常階段は、避難経路であり、不要なものは置いてなく、手すりの付いた階段で、有害、不安全な状態ではなかった。	56	30 ～ 49

10	11～ 12	ホテル構内にて、客室塗装作業中、6尺の脚立の3段目に乗り塗装作業をしていたところ、移動のために脚立から降りようとして2段目のステップに左足を引っ掛け、地面に向けて身体左側面より転倒した。	55	100 ～ 299
11	13～ 14	レストランで使用している冷蔵チャンバー内清掃作業時、フィルターの清掃のため脚立にのぼり作業していたところ体勢が崩れ脚立から転倒し受傷した。	46	100 ～ 299
11	14～ 15	事業場、建物内の階段を3階から2階に降下中、中間の踊り場で足を踏み外し、2階に転落した。左足の付け根（大腿骨）を骨折する。	50	10 ～ 29
11	12～ 13	清掃作業時ホテル内の階段を昇降する際、階段を踏み外して転落し、左第5中足骨を骨折した。	38	1～ 9
11	9～ 10	労働者が本館4Fの客室清掃作業において、室内の壁・天井の拭き掃除のため全長90cmの脚立の2段目に昇ったところ、留め具が外れ脚立が開き落下した。その際に頭部と腰部を強打し、頭部は頭出腫、腰部は骨折し現在長期入院治療中である。	59	1～ 9
11	9～ 10	2階客室にて朝食の片付けを終了後、次の作業をしようと階段（全14段）を降りていた時、誤って階段の中間を過ぎた辺りで一段踏み外し、そのまま下まで転がってしまった。その際、頭部を打撲し、尾骨を骨折してしまった。	66	1～ 9
11	11～ 12	ホテル内事務所にエアコン清掃作業の際、椅子に乗ってエアコンフィルターを取り外す時、バランスを崩して転倒した。お尻から落下のため、地面に強打し、損傷した模様である。	26	30 ～ 49
11	15～ 16	ロビータ天井の電球を脚立にのぼって取り換えていたところ、バランスを崩し、右足踵から落ち骨折してしまった。	58	100 ～ 299
11	15～ 16	従業員階段の3階から2階へ後ろ向きで拭き掃除中に、足を滑らせ落下、その時に右足首をくねらせ痛めた。滑った所は円形部分で端の幅が狭かった場所である。	60	10 ～ 29
		当館内において、脚立に上って部屋の内部の窓拭き掃除をしていた。終了したの		



12	10~11	で脚立から下りようとして2段目から3段目に足を掛けようとしたところ足を滑らせ70cm~80cm位ずり落ちて、売店の土産物陳列棚の角に右手をついて体をかばったが右胸部をぶつけてしまい負傷した。当日は終了時間まで勤務し翌日から自宅療養していたが痛みがひどくなり後日病院を受診した。	56	30 ~ 49
12	14~15	弊社経営ビジネスホテルで年末の大掃除をしている時、脚立を使用し窓拭きを行っていた際、バランスを崩し転落し、床に手をついたが腰を強打してしまった。	58	50 ~ 99
12	15~16	地下1階の客室を清掃作業後、1階の待機室に戻るため、両手に掃除用具・食器等を持って外階段を上がる途中で転倒し、左膝を強打した。	65	10 ~ 29
12	6~7	女性脱衣所に於いて、扇風機の除塵作業を行おうとした際、5段脚立の4段目に右足、5段目（天板）に左足をかけて扇風機カバーを外そうとしたところ、扇風機が落下し慌ててバランスを崩し、右半身から落下し、右膝を強打し負傷したものである。	70	100 ~ 299
12	11~12	ホテル客室で清掃作業をしているとき、和室内で脚立（天板含め3段）を用いて、窓の内側を拭いて降りる際、段を踏み外して畳の上に転倒し、背骨を骨折した。	64	1~ 9
12	8~9	蓄熱タンクで、蓄熱タンク内に塩素消毒薬材を投入後、タンク上部から降りようとして、タラップから下りるときに最後の1段を勘違いして下りてしまい、地面に足から着地できずに転倒した。なお、1段目から地面までは、80cm程の高さがある。	48	100 ~ 299
12	11~12	食堂において、正月に出すぜんざいの器をのせるお盆を取ろうとして、パイプ椅子に乗り、食器棚の上に置いてあるお盆を取り、椅子から降りようとしたときに左足が椅子に引っかかり、バランスを崩し転倒し、椅子の角で左手環指を負傷した。	64	10 ~ 29
12	15~16	開店準備をしている際に、浴槽の湯温を自らの手で確認しようとして2階へ上がる途中、階段で足を踏み外し、前のめりになり転倒したため、右手首を骨折した。	74	30 ~ 49
12	21~22	3階から2階へ階段を使って移動しようとしたとき、階段を踏み外して踊り場まで転落し、顔面を強打した。被災当時、着物・草履等により歩きにくく、また多忙	48	100 ~

		のため急いでいた。		299
12	12~13	高さ約3.6mの天井へ装飾をするため、脚立を立てて作業中、バランスを崩して脚立が倒れ、梁にぶら下がったが落下し、骨折した。	43	100 ~ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)